

# 1 大槌町社会福祉協議会ボランティアセンターってどんなところ？

(1) 事業の紹介 (チラシ参照)

(2) 経過説明 災害ボランティアセンター ⇒ ボランティアセンターへ

H23年3月27日	「社協災害ボランティアセンター」開設
H23年4月中旬	ボランティアセンター生活支援班立ち上げ
H23年6月1日	避難所からバス停入口までの送迎「坂道お助け便」開始 (～同年7月15日)
H23年6月13日	生協と協働で避難所から仮設・在宅への「引越し支援隊」開始 (～同年8月初旬)
H23年9月1日	社協災害ボランティアセンターから「復興支援ボランティアセンター」へ名称変更
H23年10月1日	介護予防・転倒予防教室「ころばん塾」開始 (～同年11月末)
H24年4月1日	復興支援ボランティアセンターから「社協ボランティアセンター」へ名称変更
H24年4月	ヤマト運輸、ジョイスとの協働による「まごころ宅急便」(買物支援)事業開始

(3) ボランティアの受入れ状況 (別表参照)

- ・災害ボラセン開設からこれまで

## 2 ボランティアって？

**言葉の意味** ラテン語では「自由意思」  
 フランス語では「喜びの精神」  
 英語の名詞では「志願兵、義勇兵」

動詞では「自発的に申し出る」という意味で訳される。

### ボランティア活動とは、いろいろな人と手をつなぐこと。

お年寄りも障害のある人も子どももみんな一緒に、地域の中で元気に、楽しく幸せに暮らしていくために、自分達それぞれができることで世の中に役立つことを自分から進んで行う活動です。

### ボランティア活動ってどんなこと？ ～活動を進める上で大切にしたいポイント～

#### ● 自分から進んで行動するもの (自主性、自発性)

人からおしつけられて行うのではなく、だれかの、何かの役に立ちたいという自然な気持ちから始める活動

#### ● 「みんなのため」が合言葉 (社会性、連体性)

「自分だけがよければいい」という考えではなく、みんなで助け合いながら住みやすい世の中にしていくための活動

#### ● 見返りを期待しない (無償性、無給性)

「人からよく思われたい」「お金や物がもらえるかも」と期待してする活動ではなく、出会いや喜び、感動など、お金では買えない大切なものを手にすることができる活動

#### ● 継続は力なり (継続性)

始めたらできるだけ続けてみよう。続けていくうちに新しい学びや楽しさを見つけることができる活動

### ●暮らしの仕組みを作り出そう（創造性、開拓性）

いま、世の中にはどのような困っている人たちがいるのかを考えながら、その人たちの役に立つためにはどうしたらよいか、みんなで知恵を出し合い、工夫していく活動

## 3 私にもできるボランティア

ひとりでもできるものから、みんなで協力するもの、地域での身近な活動から国際的な活動までいろいろあります。

**活動分野** 福祉・医療・保健、国際協力、環境、教育関係、消費生活、芸術・文化、スポーツ、災害支援、まちづくり…

- お年寄りや子ども、障害のある人にかかわる活動（話し相手、行事の手伝い、移動介助…）
- 外国の人にかかわる活動（海外支援カレンダー・絵ハガキの購入、ホームステイ受入れ…）
- 趣味や特技を活かした活動（楽器演奏、パソコン、舞踊、手芸、園芸、日曜大工、料理…）
- 自然や環境を守るための活動（地域や海岸の清掃、草刈り、リサイクル、森林を守る活動…）

#### どこで活動する？

家庭での活動：募金活動や物品の寄付、使用済み切手や書き損じハガキの収集

学校での活動：学校行事への招待、お便り活動、体験活動

地域での活動：町内会活動への参加、サロン活動、清掃活動

施設での活動：お話し相手、行事の手伝い、趣味サークルの指導

※ 収集活動については、どこでどんなことに役立っているのかという「活用方法」など、よく調べてから始めることが大切です。

◎ボランティアチェック！！

## 4 活動で心がけたいこと

### 守ろうボランティアの約束

- ・自分の身のまわりのことから始めましょう
- ・細く長く無理をしないようにしましょう
- ・相手の立場に立って接しましょう
- ・約束・秘密は必ず守りましょう
- ・自分の考えを押し付けないように謙虚になりましょう
- ・まわりの理解と協力を得て活動しましょう
- ・活動を振り返り、学びを大切にしましょう
- ・活動にけじめをつけましょう
- ・安全対策に注意しましょう
- ・スタッフの指示に従いましょう